

令和7年度 村上地域区長会連絡協議会要望事項

1. JR 村上駅東西アクセスの向上及び駅前開発事業について

旧村上総合病院の跡地利用をはじめとした駅前開発事業について、計画の進捗状況は適宜お知らせいただいているところですが、今後、より具体的な進展があれば随時お知らせくださるようお願いいたします。

開発事業にあたっては、将来的な市の財政見通しに関して住民の不安の声が上がっていることも事実です。時間を要するとしても、市民が納得できるような開発事業を行ってほしいという意見も多くあります。このことから、現状の予算規模や今後の開発に係る財政見通しをお聞かせください。

また、これまで要望してきたとおり、JR 村上駅東西のアクセス向上については、地域住民や村上総合病院利用者をはじめ、多くの方から不便との声があり、早期の着工・改善を望む声があがっています。アクセス向上が実現すれば、西口周辺の自治会はもちろん、瀬波温泉の活性化にも有効であると考えます。

今後、駅の橋上化や徒歩・自転車での往来が可能となるか、その計画の有無をお聞かせください。

【回答】

村上駅周辺まちづくり事業の進捗状況につきましては、随時、市ホームページや SNS、説明会等でお知らせしているところであり、引き続き適時お知らせを継続してまいります。

また、村上総合病院跡地の利活用につきましては、PPP（公共サービスの提供に民間が参画する手法）を基本に検討を進めており、具体的な内容やあり方について市民のご意見もお聞きしながら協議を進めているところです。現状の予算規模につきましては、統合保育園や周辺道路整備を含めて、市が事業主体と仮定し、総事業費 71.5 億円として令和7年2月にお示ししたところです。

村上駅東西の連絡通路整備につきましては、平成27年3月に策定した村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）に、取組の一つとして歩行者・自転車専用の通路整備を掲載しており、現在、西口周辺や瀬波温泉へのアクセス向上に向けた整備手法の検討や早期の整備にかかるための協議を進めているところであります。

（都市計画課）

2. 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項

『みなとオアシス越後岩船』は、岩船地区から瀬波温泉地区の海岸線に位置し、「岩船港緑地公園」「岩船港直売所」「粟島汽船営業所」「岩船港から瀬波海水浴場までの海岸」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれております。地元では、各種イベントの開催や海岸清掃や港湾エリアの一斉清掃（令和元年緑綬褒章受章）など、環境美化活動にも力を入れております。

つきましては、『みなとオアシス越後岩船』のエリアの更なる交流人口の増加を図るべく、下記の3項目について要望します。

(1) 旧市民会館跡地等の有効活用について

村上市スケートパークを含めた旧市民会館一帯は、観光においてもまた地域内外の人々の交流の場としても、ますます重要なスポットとなっています。しかしながら、現在旧市民会館は閉鎖され、その周辺は荒廃したままで有効な活用がされていない状態です。位置的にも瀬波温泉の玄関口となっているため、観光客に対しても心象を損ないかねません。

つきましてはこれらの土地について速やかに企画開発を進めるよう要望するとともに、旧市民会館の早急な解体を要望します。また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地には日本海を一望できる休憩所を整備するなど、『村上市スケートパーク』に隣接した新たな観光・交流スポットとして『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

【回答】

今年度、旧市民会館の解体に向けたアスベスト調査及びPCB調査業務を実施しており、現在、旧市民会館敷地を利用している日本スケートボーディング連盟と解体に向けた調整を進めているところです。解体後の活用につきましては、旧市民会館一帯をエリアとして、観光資源としての魅力を高め、国内外からの交流が一層促進する方向で進めてまいります。

(生涯学習課)

(2) いこいの森児童公園の設備の充実について

「いこいの森児童公園」は「恐竜公園」の愛称で親しまれ、かつては休日ともなれば市内各地から親子連れが訪れ大変な賑わいとなっていましたが、遊具の使用禁止やコロナ禍などにより徐々に利用が減少しました。令和5年度にトイレは新しくなりましたが、かつての賑わいは取り戻せていない状況にあります。つきましては遊具の増設と併せてバーベキュー広場の設備を充実させ、家族が無料で楽しめるエリアの創設を要望します。

【回答】

いこいの森児童公園は、市内全域から利用されている拠点公園であり、毎年園児や児童などの遠足にも多く利用されているところです。遊具につきましては、恐竜の滑り台のほか、令和2年度には園児用の滑り台として、複合遊具を増設し、小さなお子様にも利用できるように整備をしております。遊具の増設のほかバーベキュー広場の設備のご要望につきましては、市民のニーズを踏まえて施設整備、環境整備を進めていく必要がありますので、公共施設マネジメントプログラムの取組の中で、公園や周辺施設一帯としての有効活用について検討を進めてまいります。

(都市計画課)

(3) 諸上寺公園の整備について

諸上寺公園には多くの桜が植樹され、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても広く知られています。

当地区は『みなとオアシス越後岩船』の瀬波温泉地区と岩船地区の中間に位置し、登り口から頂上の諸上寺公園まで、道路に沿って八重桜が咲き誇る様は、さながら桜色の

龍が頂上へと駆け登っているかのようでもあります。旧村上市時代には、植樹や追肥等を行い維持管理がなされてきましたが、合併後は十分な管理が行われておらず、枯れ始めた木も見受けられます。

諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や『みなとオアシス越後岩船』を訪れた観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また以前設置されていた諸上寺公園の展望台は『みなとオアシス越後岩船』エリア内随一の高さを誇り、屋上からはエリア全景を見渡すことができ、晴れた日には遠く粟島を望むことができましたが、老朽化のため使用禁止となり平成29年に解体されました。

その後、簡易な展望デッキが設置されましたが、従来のような眺望を望むことが出来ません。『みなとオアシス越後岩船』を中心とした観光振興の面からも、前方の桜の枝を伐採することなく、展望台とトイレを一体化（1階部分を障がい者対応型トイレ、屋上部分を展望台とする）して整備するよう要望します。

【回答】

諸上寺公園については、桜や日本海の素晴らしい眺望を望むことができることから、多くの観光客に訪れていただいております。定期的な桜の苗木の植栽や周辺の遊歩道に木製フェンスを整備するなど、公園一帯の整備を進めております。今後も桜の植栽や遊歩道の除草、倒木処理を定期的に行いながら展望デッキからの眺望を確保し、引き続き桜の名所として皆様に親しまれる公園となるよう維持管理に努めてまいります。

また、公共トイレについては老朽化や使用状況等を踏まえ順次更新等を行っているところですので、引き続き快適にご利用いただけるよう維持管理に努めてまいります。

(観光課)

3. 環状3号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状3号線については、地元の瀬波地区のみならず、他地区からも要望が出されたこともあり、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられている重要な路線となっています。この瀬波温泉トンネルから先の環状3号線について、平成15年8月に当時の村上市長と村上土木事務所（現在の新潟県村上地域振興局地域整備部）に瀬波地区区長が連名で環状3号線の早期開通の要望書を提出しており、それ以降も早期開通の要望を繰り返しております。

しかしながら、同路線に大きな影響を及ぼす村上総合病院が移転・開院し、それに伴い県においては、村上総合病院へのアクセス道路としての松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということと、整備の必要性や効果の客観的な整理が必要ということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化についてはいまだに目処が立っていない状況です。

平成28年6月の村上市議会第2回定例会の一般質問において瀬波温泉トンネル先線の整備に関する質問が提出され、市長は「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活

動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。

また、令和2年9月開催の村上市議会第3回定例会でも同様の質問があり、市長は「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と答弁しています。このことから市としても重要な路線と位置付けているということで、新潟県に環状3号線を事業化していただき、実施年度などの具体的な事業計画を示す必要があると思われれます。

この長年の懸案事項である環状3号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を新潟県へ働きかけていただきますよう強く要望いたします。

【回答】

都市計画道路「環状3号線」の未整備区間となる瀬波温泉トンネル先線の早期事業化につきましては、国道345号のバイパスと位置づけ、これまでも県に強く要望してまいりましたが、なかなか進展しない状況が続いています。

本市といたしましては、村上総合病院の移転に伴い、JR村上駅西側へのアクセス向上を目的として県が整備を進めている松山バイパスの早期完成を最優先にお願いしているところでありますが、トンネル先線につきましても、地域の活性化につながる路線としての重要性を踏まえ、引き続き力強く要望を続けてまいります。

(都市計画課)

4. 村上山辺里 IC のフル化の早期実現について

日下地区の創設非農用地では、昨年7月29日に事業者との包括連携協定が締結され、木質バイオマス発電事業などの「グリーンプロジェクト」が令和9年12月開業を目指し現在進行中です。また、本市火葬場整備基本方針に基づき、拠点となる火葬場の建設計画も決定しています。

広域にわたる本市の交通ネットワークおよびアクセス機能の強化は、これらの事業推進や経済活動、行政サービスの推進に加え、災害対応に重要な役割を担います。

このため、日沿道全線開通前に村上山辺里 IC のフル化の必要性について国土交通省および関係機関へ働きかけ、改修整備の早期実現を要望します。

【回答】

朝日温海道路「村上山辺里インターチェンジ」をフルインターチェンジ化のご要望につきましては、市民の利便性向上や地域経済の活性化に寄与する重要な施策であると認識しております。現時点では、ご要望の実現可能性を確実に見極めるため、当該路線の整備進捗状況や周辺開発の動向を引き続き注視するとともに、朝日温海道路の全線開通を最優先としつつ、村上山辺里インターチェンジのフルインターチェンジ化についても国土交通省をはじめとする関係機関と情報を緊密に共有しながら、具体的な整備の方策を検討してまいります。

(建設課)

5. 旧上海府小学校グラウンドへの自動車の乗り入れについて

旧上海府小学校グラウンドについては、ドクターヘリのランデブーポイントとなっていますが、グラウンド内に自動車が乗り入れできないため、救急車からドクターヘリへの搬送距離や時間が長くなり、搬送中の揺れや振動など患者への悪影響が大きくなることを大変危惧しています。

また、上海府体育館は市の指定避難所に指定されていますが、災害の状況によっては多数の避難者が利用することが想定されます。しかし、現状では二十数台の駐車場しかなく、多数の避難者への対応としては不十分です。昨年、校舎側の避難所指定の検討を本要望の一つとしましたが、それが実現されれば更に駐車場が不足することも想定されます。

これらのことから、グラウンドへの自動車の乗り入れが可能となるよう、出入口の整備を要望いたします。

【回答】

現在、グラウンドへの車の乗り入れは、周囲のフェンスや校庭との段差により難しい状況になっております。グラウンドへの車の乗り入れ方法につきましては、校門付近か市道沿いの一部フェンスを取り除く方法が考えられますが、校門付近から乗入れする方法が有力であります。具体的な工法が出来上がりましたら、地域とも協議させていただき、実施に向けて検討したいと考えております。

また、患者搬送時の影響につきましては、ご指摘のとおり、グラウンド内に救急車両が直接入れないことにより、ヘリ乗り込み時に影響があることを認識しており、できる限り傷病者へのご負担が少なくなるよう努めているところです。今後、救急搬送が迅速かつスムーズに行うことができるよう、搬送経路の改善に向けて検討してまいります。

地域の安全・安心を守るため、皆さまと一緒に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

(学校教育課、消防本部)